2023 親子で学ぶ平和学習資料

私の戦争体験

第45集

おじいさんやおばあさんが体験した
大切な大切なお話の数々

巻頭特集「私の街にもある戦争の足跡」— P2
「私の戦争体験アーカイブ」のご紹介 — P4
戦争に奪われた青春　杉野 悦子 — P5
「ピカドン」の一日　山本 瑤子 — P8
北朝鮮からの引き揚げ体験
　— 終戦から帰国まで　伊藤 伸 — P11
国民学校児童集団疎開　中村 千鶴子 — P14
堺大空襲　匿名 — P17
学徒動員　匿名 — P20

くらしに笑顔お届けします
大阪いずみ市民生活協同組合

戦争に奪われた青春

泉佐野市　杉野悦子　94歳

私は昭和3年に兵庫県朝来郡朝来町（現在は朝来市）で生まれました。**尋常小学校**のころに戦争が始まり、日本はずっと勝ち進んでいて、しばらくは日本本土での戦いがなかったため学校へも行けていました。

しかし生活に必要な物を作る場所が戦争のために使われ始め、戦争が長期化していくなかで、徐々に食べる物にも着る物にも不自由するようになりました。国からの**配給**があった時には隣近所で分け合い、それでも足りないので、親の着物をほどいて子どもの服にしたり、家の前の土地を耕してイモ類などを作っていました。私の家の前は県道でしたが、

尋常小学校
1886年小学校令により設置され、満6歳以上の児童に初等普通教育を施した義務制の小学校。期間は最初4年、1907年から6年。

配給
数量が十分でない物資を家庭ごとにわりあてて配る制度。

私の家の筋と向かいの家の筋の人が畑を作っていたので、県道の幅が半分ぐらいになっていたのを覚えています。野菜を作れない人は、着物などと米を物々交換に回っていました。**闇市**というものもあり、普通の値段では何も買えず、高いお金を出さないとほしいものを手にすることができませんでした。

昭和19年には、日本本土への爆撃が始まり、それまでよりはるかに大変なことになりました。夜は家の中が明るいと人がいるのがわかって危険なので、電球に黒い布をかぶせたりしていました。そのころ私は高等女学校在学中で、**学徒動員**で明石の**軍需工場**に行かされ、**ジュラルミン**の飛行機部品を作る仕事をさせられました。空には**B29**が飛び、いつ爆弾が落ちてくるかわからない状況でした。家族は、死んで帰ってくるのではないかと、とても心配していました。勉強は仕事が終わってから夜にするように言われましたが、夜にはもうへとへとで勉強どころではありませんでした。

そんなある日、校長先生が「生徒を死なせるわけにはいかない」と、私たちを工場から退避させ、家に帰らせてくれたのです。当時そのようなことを言う者、戦争に協力しない者は**国賊**と呼ばれました。しかしそれでも校長先生は生徒の命を守るため、「私は何を言われてもいい」と、私たちを危険から救ってくれたのでした。校長先生の勇気には心から感謝しています。

ところが、私たちの退避後ほどなくして、爆弾が落とされ、同じ軍需工場にいた別の学校の生徒がほとんど亡くなってしまったと聞かされました。本当に切なさしかありませんでした。

戦争は殺し合い。こんな馬鹿なことはありません。今、日本人は戦争のない平和な時代しか知らない人がほとんどです。また悲惨な戦争が起こることのないよう、戦争を知る者が語り継ぎ、その意識を継承してもらいたいと切に願います。

川崎航空機明石工場に大空襲　写真提供：明石市

闇市
戦争のために物資が不足した状況で非合法に設けられた市場。

学徒動員
国内の労働力不足を補うために、中等学校以上の生徒や学生が軍需産業や食料生産に動員されたこと。

軍需工場
武器、弾薬など軍事用の物資を製造、補修する工場。

ジュラルミン
アルミニウムと銅、マグネシウムなどによるアルミニウム合金の一種。

B29
アメリカのボーイングが開発した大型戦略爆撃機。B29による日本本土空襲は、日本の継戦能力を喪失させる大きな要因となった。

国賊
国の利益を害する者。国家に害を与える者。

「ピカドン」の一日

八尾市　山本 瑤子　87歳

昭和20年8月6日は、夏休み中の数少ない登校日であった。

広島県の西端、川を渡れば山口県という地に建つ、大竹小学校の4年生に私は在籍していた。

雲ひとつない青空のもと、それぞれが過ごしてきた夏休みを、かしましくも嬉々として話し合いながら、教員が現れて朝礼の始まるのを待っていた。

ふと、頭上でB29の爆音がかすかに聞こえたようだった。

「ピカッ！」

世の中の稲妻をすべて手で束ねたような**閃光**が走った。「ウォン！」と地を揺るがす衝撃音が続いた。気づいたときには、両手の親指で耳をふさぎ、残る指を目に当て、地面に伏していた。これは敵機を頭上に迎えた時の、自分の身を守る一連の所作として訓練を受けたものだった。身を固くして待つことしばし、一瞬水を打ったように静かだった運動場がざわざわとごめき出した。「あぁー」という叫び声が上がった。

突然、空は灰色に覆われ、どくんどくんと巨大なきのこのような雲がわいてきた。いまだかつて出合ったこともない巨大な雲を、次から次へもくもくと際限もなく造っていった。

ぼーっと突っ立った私は、下校を促す教師の声に押されて、目は中空をにらんだまま家路をたどった。子どもの足で1時間あまりの道中も、**きのこ雲**はもこもことかすかな動きはあっても、平然と見下ろしていた。

夕刻になって、**新型爆弾**で広島市は全滅したと知った。

女学生だった隣の姉さんが、その夜9時ごろ車に乗せられて帰宅、玄関にたどり着くと同時に気を失い、そして亡くなった。

涙にぬれたおばさんは、浴衣を着せた姉さんを、かえた胸から下ろし、泣き崩れた。

小さく縮んだ姉さんは、線路の**枕木**のようだった。真っ黒な中の白い目と口、浴衣の袖

ピカドン
（「ピカ」は閃光、「ドン」は爆音）原子爆弾の俗称。被爆当時に広島の子どもが使い始めた語。「ピカ」とも言う。

広島に投下された原子爆弾
「リトルボーイ」
米国国立公文書館所蔵
写真提供：広島平和記念資料館

B29
アメリカのボーイングが開発した大型戦略爆撃機。B29による日本本土空襲は、日本の継戦能力を喪失させる大きな要因となった。

閃光
雷の稲光のように、瞬間的に発する光。

きのこ雲
核爆発・火山爆発などで生じる、キノコ状の巨大な雲。

新型爆弾
原子爆弾のことを指す。ウラン、プルトニウムなど核分裂反応で発生する熱線・爆風・放射線で殺傷、破壊する爆弾。

枕木
鉄道のレールの下に、横に敷き並べる部材。

からは黒い枝のような手が出ていた。
笑顔にあふれた、明るくてやさしい姉さんの面影と、黒く縮んだ姉さんとは、ともに忘れることのできない人となったのである。
一瞬にして命を奪われた人々、苦しみの中で息絶えた人々、今もなお後遺症に悩み苦しむ人々、すべて**市井**の人々であった。
無差別な大量破壊、大量殺りくが行われた8月6日は、闇の中に幕を下ろした。
「**原水爆**を禁止し、恐るべき核戦争を防止して世界の平和と人類の繁栄を確保することは、世界諸国民に課せられた使命である」
原水禁（核と人類は共存できない）**運動**を支持して、いち市民の私もこれから進んで歩んでいく決心である。

広島県産業奨励館（原爆ドーム）と爆心地付近
写真提供：広島平和記念資料館

市井
人が多数集まって住んでいるところ、市街地。

原水爆
原子爆弾と水素爆弾。また、核爆弾の総称。（水素爆弾：水素の原子核を衝突させてヘリウムに変えるときに発する高熱と放射能とを利用した爆弾。水爆。破壊力は原子爆弾の約一千倍）

原水禁運動
原水爆禁止運動のこと。広島・長崎での原爆被爆体験に根ざし、アメリカの水爆実験による第五福竜丸被災事件をきっかけにして生まれた日本の原水爆禁止運動。

北朝鮮からの引き揚げ体験
―終戦から帰国まで

堺市 **伊藤 伸** 86歳

私は**北朝鮮**（**朝鮮咸鏡南道**興南邑）で生まれ、昭和21年5月に日本に帰国しました。正式な**引き揚げ**ではなく、**闇船**での脱出でした。父の仕事が日本窒素興南工場に勤務していたことに由来します。
終戦は小学3年生の夏休みでした。終戦と同時に学校は**ソ連軍**の病院に変わり、私たちは学校にも行けず、親と一緒に苦労の生活が始まりました。戦後1週間くらいすると、ソ連兵が**銃剣**を持ち、朝鮮人の**保安隊**に案内され、各家庭に土足で上がってきて、時計や貴金属・お金を奪いました。品物を出さないと銃で撃つぞ、と脅してきました。父も首根っ

北朝鮮
朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）は朝鮮半島北部を領域とする社会主義国家。南部は大韓民国（韓国）。日本は1910年から1945年（太平洋戦争終戦）まで、朝鮮半島を植民地として支配した。

朝鮮咸鏡南道
日本統治時代の朝鮮の行政区画の一つ。現在の朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の咸鏡南道と江原道の一部、両江道を合わせた地域にあたる。

引き揚げ
外地にいた日本人が、日本の本土（内地）に帰ること。当時、660万人以上といわれる日本人が海外に残されており、1949年末までに、624万人が帰還した。

こを壁に押しつけられ、ナイフで脅されるのを目の前で見ていて、とても怖い思いでした。

まもなく、日本人と朝鮮人で社宅の入れ替えがあり、私たちは**オンドル**つきの4畳半くらいが一間の長屋に移され、食料と寒さに苦しむ生活が始まりました。米や野菜を求めて親とともに朝鮮人宅を訪ね、手に入れたこともありました。

ソ連兵が近くに来ているから、女や子どもは**コウリャン**畑に隠れよ、とよく言われました。また、遊んでいるそばを死人を担いだ担架がよく通りました。それは近くの寮生が栄養失調や**発疹チフス**で亡くなっていく姿で、悲しかったです。夜は、トラックの音とともに女の人の悲鳴が毎晩のように聞こえてくるのがとても嫌でした。ソ連兵に連れ去られ、**慰安婦**にさせられるとのことでした。

そんな辛い生活を何とか乗り越えて、新緑の季節に、父から船で他の家族とともに脱出して日本に帰るぞ、と言われました。待っていてもいつ日本に帰国できるかわからないから準備を急げ、とのことでした。

ある日の暮れ方に、西湖津の港から漁船に乗り、出発。私は大人用のリュックに食料・着替え・洗面具など最低限の物を詰め込み、母は2歳の弟を背負い、父は5歳の妹の手を引いて、という状態でした。目的の**南鮮**には一晩船中泊をしたら着くという話だったのに、船頭が心変わりをして私たちを苦しめました。船を遠くに迂回させているうちに大嵐に遭い、長い間船はほんろうされ、命の危険を感じ、嵐がやむまで生きた心地がしなかったです。嵐が収まった時には、命拾いした思いで静まった海を眺めたものです。

まもなく南鮮の小さい港に船が着き、ホッとひといき。下船してからは長い道のりを歩いて、父の知人で朝鮮人の親せきに紹介された民家にたどり着き、ご飯をごちそうになり、元気よく釜山港まで歩いて、待っていたアメリカの**上陸用舟艇**に乗船しました。乗船する時に頭や背中に**DDT**を振りかけられ、むせながらも、やっと日本に向かう船に乗れたと安堵したのもつかの間、乗船者の中に**コレラ**が発症したとのことで、しばらく停泊とのこと。その間に死人が出て、白い布に包まれた遺体が海に投げ込まれるのを見ました。やっと釜山港を離れた船は、山口県の長門市の仙崎港に到着。初めて日本の土を踏んだ感動は忘れられません。

私たちは祖母の待つ父の故郷熊本に向け、山陰線と鹿児島本線を乗り継ぎ、5月22日に帰りました。途中、鹿児島本線に乗るために長い列に並んでいた私が大きなリュックを背負っている姿を見たどこかの紳士が、この子がかわいそうだと何度も言いながら、振り返って見ながら去って行かれたのが印象に残っています。

今、ウクライナの戦況を見ると、体験と重なり胸が痛みます。戦争は絶対、起こしてはいけません。憲法九条を守っていきたいと思います。

闇船
北朝鮮に残留していた日本人が金を出しあって購入した日本への脱出船。

ソ連軍
ソビエト社会主義共和国連邦軍の略。ソ連が保有していた軍隊。ソ連は1922年から1991年までユーラシア大陸北部に存在した社会主義国家。

銃剣
平常は鞘におさめて腰に帯び、突撃または接戦の場合、銃の先につけて敵を刺すのに用いる短い剣。また、それを先につけた銃。

保安隊
国土防衛や治安維持などを行う組織。国家が組織する事実上の軍隊から民兵や自警団の自称までさまざまな形態の組織が存在する。

オンドル
韓国式の床暖房のこと。

コウリャン(コーリャン)
イネ科の穀物で、中国北部で栽培されるトウモロコシの一種。

発疹チフス
衣虱、頭虱から伝染する伝染病のひとつ。

慰安婦
主に戦地の施設で将兵の性の相手をした女性のこと。

南鮮
朝鮮半島南部の地域を指す地名。

上陸用舟艇
軍用艦艇の一種。上陸部隊を乗せて短い距離を航走し、岸辺に接舷または直接乗り上げることで上陸させるための舟艇のこと。

DDT
身体や衣類に付着したノミやシラミなどの害虫を駆除する薬品。

コレラ
コレラ菌によって引き起こされる重篤な腸の感染症で、重度の下痢がみられる。

国民学校児童集団疎開

大阪市　中村 千鶴子　97歳

私たちの住むこの日本と、私はほぼ1世紀をともに歩んできた。あの忌まわしい**太平洋戦争**は忘れることはできない。ちまたでは敗戦が密かにささやかれた昭和19年8月、大都市の**国民学校**児童に**集団疎開**、田舎についてのある児童は**縁故疎開**が実施された。**少国民**を戦禍から守るため、敵の攻撃がされにくい地へ行く。私は市会議員からの要請で、大阪市東成区神路国民学校児童に寮母として付き添うことになった。

疎開先は奈良県明日香村、西国7番札所の**古刹**、岡寺である。昭和19年9月某日、いよいよ出発である。近鉄今里駅ホームはリュックを背負った子、見送りの父母、縁者たちであふれていた。上六発奈良行きの特別車が到着した。児童父母、みんなが乗り込んだ。程なく発車のベルが鳴り響く。車窓との別れ、窓に手を重ね、ほおを寄せて涙ぐむ。双方が今生の別れになるやもしれない。引き裂かれる。発車後、車内は誰ひとり声を出す者もいない。静かだった。あのやんちゃ坊主さえ。私はこの情景を忘れることがない。

岡寺は山の中腹にあり、山道は石が多い。山門をくぐると右は本堂、左が山肌を利用した二階建てで、広い廊下に大きな**欄干**がある。ここから山門が一望でき、布団も干した。襖を取り、部屋を広間にしたが、布団3列を敷くと足の踏み場もない。訓導2人、寮母3人、地元の作業員2人、6年生男子60人と終戦まで寝食苦難をともにすることになる。それぞれの役割を決め、18歳の私は児童と歳が近いので母親代わり（衣類の世話や傷の手当など）となる。到着した夜、暗闇と静寂の山中、遠くでカッタンコットンと鉄道の音が聞こえる。子どもたちは布団の中で泣いている。私も泣けてくる。夕食後はぞくぞくと私の元へ集まってくる。ボタン付けや繕いなど、できあがるまで針を見ている。おできや傷の手当ても軟膏のみ。「痛いね、すぐ治るよ」と頭をなでると、次々頭が並ぶ。ハグすれば全員を抱え込むことになる。大阪のお母さんが恋しいのだ。

集団生活では自分たちのことは自分でする。農協からの米運びだ。**大八車**で下級生の寮

太平洋戦争
1941年から1945年にアメリカ・イギリスなどの連合国と日本との間に行われた戦争。

国民学校
1941年、それまでの小学校が国民学校に改められた。子どもは、個人の子どもではなく、お国の子どもとして教育され、戦争につながる教育が行われた。

集団疎開
空襲や火災などの災禍の集中しやすい大都市の住民を地方に集団で分散移動させること。

縁故疎開
血縁・親戚などの縁続きや知人などを頼りに疎開すること。

少国民
第二次世界大戦中、軍事教育を受けていた小学生くらいの少年少女のこと。天皇に仕える小さな国民という意味があった。

古刹
古く由緒ある寺。

岡寺

欄干
橋または階段などの端に、人や車が下に落ちないように柵状に作りつけたもの。手すり。

大八車
荷物運搬用の、2、3人でひく大型の二輪車。8人の代わりをする車という意と言われている。

（橘寺）まで運び、次に自分たちの寮までゴロゴロ山道を登り、山門に入る。そこから白い布袋の米をおのおの背中いっぱいに負い、2階まで。私も背負ったが、重かった。その米も届かなくなり、粥やみんなで摘んだ野草入り雑炊となる。副菜は肉や魚はなく、大豆や大根などである。子どもたちは骨と皮になっていく。日用品は大阪から親の持たせた物ばかり。洗濯はせっけんもなく、汚れは落ちない。ノミ、**南京虫**、衣類の**シラミ**に悩まされる。子どもたちの一番の楽しみは面会日だ。その日は例の欄干から首を長くして待つ。着替えやごちそうを持ってくる。私どもは遠くで見守っている。楽しい3時間は過ぎ、「さようなら」の合唱がこだまする。翌日は全員が下痢だが、親御さまたちはご存じない。金属音をたてた**B29**が飛来、大阪の空を染めた。ついに敗戦となったが、この集団生活は彼らの人格構成途上にあり、何らかの糧とされたと私は思う。

浪速江橋付近、南堀江通1丁目の焼け跡
写真提供：なにわ堀江 1500

南京虫
トコジラミの別称。

シラミ
哺乳類の皮膚に寄生し、血液を吸う。

B29
アメリカのボーイングが開発した大型戦略爆撃機。B29による日本本土空襲は、日本の継戦能力を喪失させる大きな要因となった。

堺大空襲

堺市 匿名 79歳

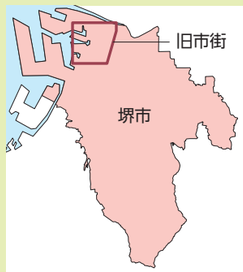
終戦時1歳8か月だった私、一面の焼け野原の記憶はあるものの、戦中のことはまったく覚えがない。でも戦いのゲームに夢中の若者たちを見るたび、実際の戦争の悲惨さを伝えねばと、両親や4歳年上の姉が語った戦争の話を思い出してつづってみようと思う。

戦況がどんどん悪化し、堺市も昭和20年3月を皮切りに、何度も**B29**の爆撃を受けるようになった。航空機部品の製造会社を営んでいた父は、敷地内に一緒に住んでいた従業員や親類のうち、女性とまだ幼い子どもを**疎開**させる決心をし、祖母、母、叔母、姉と私など第一陣が**堺市**

堺大空襲
第二次世界大戦中、堺市では5次にわたる空襲があり、1945年7月10日の空襲では、一夜にして1800人以上もの命が失われ、多くの市民が犠牲になった。

B29
アメリカのボーイングが開発した大型戦略爆撃機。B29による日本本土空襲は、日本の終戦能力を喪失させる大きな要因となった。

疎開
攻撃目的となりやすい都市に住む学童、老人、女性などを分散させ、田舎に避難させること。



堺市旧市街
現在の堺市堺区堺旧港～大小路周辺。

旧市街の材木町東1丁を出発。深井の親類宅をめざした。今の大仙公園あたりにあった大阪農学校（後の大阪府立大学農学部）の側を歩いていると、米軍の戦闘機**グラマン**が操縦士の顔が見えるくらいの低空で飛来、ダダダーンと**機銃掃射**を行ってきた。必死で近くの茂みに逃げ込み、九死に一生を得たが、母はどうせ死ぬなら家族一緒に死にたいと、すぐに自宅に引き返したという。

数日後、会社の従業員が消火ポンプの故障に気づき修理。その翌日7月10日未明、堺にB29が100機襲来。私は母に背負われ、姉は叔母に手を引かれて炎の海を逃げた。修理したポンプや従業員、親類の活動で消し止め、わが家は焼け残ったが、隣家から南は焼け野原、堺旧市街の62%が焼失、死者1860人、**罹災者**7万人という大惨事となった。わが家には焼け出された数家族がしばらく身を寄せていらした。終戦後、私を外に連れて出ようとすると、「外は熱いからイヤ」と泣いたという。堺東でかさ屋さんをしていらした方は、「東に逃げた者は助かったが、西に逃げた親類は全員亡くなった」と言っていた。私は、母が東に逃げてくれたおかげでこうして生きている。堺の西の方、南海本線堺駅近くの内川は死体で埋まり、**龍神の遊郭**では逃亡防止の格子で逃れられず、女の人たちが多数亡くなったとか。貧しさから身を売られ、つらい思いをしてきた女性たちなのに…戦争はいつも弱い者をよりひどい目に合わせる。

焼け野原の中に鉄筋コンクリートゆえに焼け残った建物が2棟建っていたのを覚えている。今の利晶の杜のところにあった市立堺病院と堺東の堺市役所だ。敵に目立たないようにと真っ黒に塗られていた。家の中の電灯も光がもれないようにと黒いカバーをどの家もかけていた。レーダーで地図などバレバレなのに、竹やり訓練同様、日本はおろかなことをしていたものだ。私は、時おり堺駅近くの「念ずれば花ひらく」の記念碑や戦災無縁地蔵尊を訪れ、非戦の思いを新たにしている。

近頃は考古学の研究が進み、日本の縄文は戦のない、世界に類のみない平和が1万年続いた時代だったと明らかになってきたとか。科学が発達し、他の天体をめざそうとしている人類が、なぜまだ戦争をするのか、ウクライナやミャンマー、アフガンの映像を見るたび、やるせない思いでいっぱいになる。

堺市戦災殉難之地　記念碑
写真提供：堺平和委員会

グラマン
アメリカ合衆国のグラマン社が開発しアメリカ海軍が第二次世界大戦中盤以降に使用した艦上戦闘機。

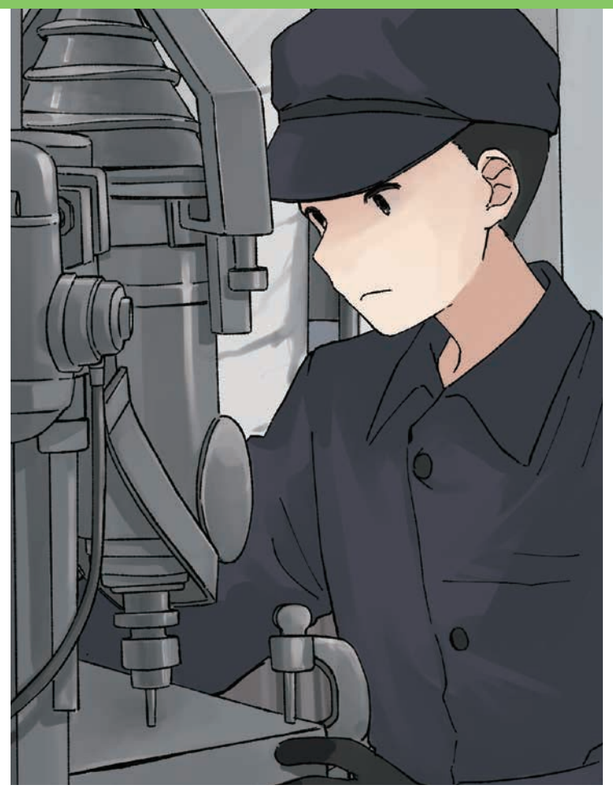
機銃掃射
機関銃の銃口を動かし、敵をなぎ払うように射撃すること。

罹災者
災害にあった人。特に、地震や台風などの自然災害にあった人をいう。

龍神の遊郭
現在の堺市堺区竜神橋町にあった、政府が管理・運営する、主に性風俗（遊女）を扱う場所のこと。

学徒動員

守口市　匿名　90歳



私の家は大阪市北区の造幣局の東側、桜宮橋の近くで、両親は風呂屋をしていた。自宅の近くに81歳の祖母が住んでいたので、父が私だけ一緒に住むように言った。**空襲**は昭和20年お正月が明けると毎晩のように来襲した。ラジオから**空襲警報**発令のサイレンが不気味な音で鳴り響いた。日を追うごとに夜中何回もサイレンの音で起こされた。

昭和20年3月13日夜10時過ぎ、まだサイレンが鳴り、大阪の上空、静かな桜之宮公園のすぐ近くに**B29**が次々に爆音を響かせて襲来し、市内の中心部を攻撃した。天満橋の辺りから火の手が上がった。B29の爆音が途絶えた。外は黒い大雨が降った。その後、大阪の中心部は何日も燃えていた。この日以来、私の家族は父母と妹2人が一緒に住むようになった。

その頃、私は昭和19年に小学校を卒業し、**旧制中学**2年生になっていたので、学校から呼び出し状が届いた。内容は2年生1学期から**軍需工場**へ**学徒動員**に同級生10人くらいと行くことが決まった。場所は阪神姫島駅近くの**軍艦**の部品製作会社で、男性社員は軍に呼ばれていなくなって、女性社員が多かった。社長から注意訓示があって、現在日本では鉄が不足しているので不良品を出さないこと、ここではヤスリの使い方の仕上げ作業や、**ボール盤**でまっすぐ穴あけをすることを教わった。会社は昼食付き、時間は朝7時から夕方5時まで10時間労働であった。通勤は桜ノ宮から大阪駅までの国鉄城東線（現在の大阪環状線）と、大阪駅から阪神電鉄姫島駅まで2枚の定期券を持参していた。

昭和20年6月7日午前10時ごろ、**警戒警報**が鳴ったので、学徒は作業を中止、自宅に帰るように通達された。帰宅途中、大阪駅で空襲警報になり、すべての交通機関はストップ、家まで帰ることができなかった。私は今来た阪神地下梅田に避難した。地下街は停電で真っ暗。電車利用の人や地元の人が、停電した真っ暗な地下街に大勢いた。いよいよ空襲が始まった。超低空のB29の爆撃音や**焼夷弾**をばらまく音が、ザアーッと聞こえ、地下街は地震のように何回もゆれた。怖かった。どれほど時間が過ぎたのか、ようやく警報が

空襲
航空機から地上を爆撃したり、銃撃したりすること。

空襲警報
敵軍航空機による空襲から避難を促すためにラジオやサイレンなどで知らせる警報。

B29
アメリカのボーイングが開発した大型戦略爆撃機。B29による日本本土空襲は、日本の継戦能力を喪失させる大きな要因となった。

旧制中学
小学校を修了した男子の高等普通教育が行われた学校。修業年限5年。

軍需工場
武器、弾薬など軍事用の物資を製造、補修する工場。

学徒動員
国内の労働力不足を補うために、中等学校以上の生徒や学生が軍需産業や食料生産に動員されたこと。

軍艦
戦闘を行うため、軍が有する船。

ボール盤
素材に正確に穴をあけるための工作機械。

警戒警報
敵機の空襲のおそれがある場合に出された警報。

解除になったが、国鉄はまだ動いていないので、御堂筋を歩いて帰ることにした。

両側の道は焼夷弾で燃えていた。ところどころに**不発弾**があるかと思って怖かった。ようやく家の近くまで帰ったら、桜宮橋近くの街も自宅も焼けていた。

昭和20年8月15日正午、いつも通り出勤すると、社長から正午に天皇陛下の**玉音放送**があると聞かされた。戦争が終わったこと、敗戦になったことがわかった。何よりも空襲から解放されて、毎晩安心してぐっすり眠れることがうれしかった。学校も復活して、同級生とも久しぶりに会えた。

その頃の日本は10時間労働が普通で、戦後**マッカーサー元帥**が1日10時間と聞き、日本人は働きすぎだと言われた。アメリカでは8時間労働が普通だから、それ以来8時間労働に改善された。

御津国民学校屋上より南方、難波方面を見る
写真提供：ピースおおさか

焼夷弾
敵の建造物や陣地を焼くことを目的とした砲弾や爆弾。木造の日本家屋を効率よく焼き払うために使用された。

不発弾
何らかの不具合があって爆発せずにある、砲弾などの弾薬類。

玉音放送
1945年8月15日正午から昭和天皇自らが太平洋戦争終結の決定を国民に伝えるために行ったラジオ放送。

マッカーサー元帥
アメリカ合衆国の軍人。太平洋戦争の日本降伏後は連合国軍最高司令官として日本占領にあたった。